



小暮ひろし市議会報告

新政佐野 小暮博志

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地
TEL・FAX 0283-23-8263
E-mail kogurehi@sctv.jp

紙面

下水道使用料等審議会(第3回、第4回)
2010佐野市ふれあいフェスティバル(10月24日)
国民健康保険(国保)運営協議会

両毛六市若手議員懇談会研修会 (11月1日)
新政佐野行政視察 (彦根市、小浜市)
平成22年第4回12月定例議会(11月26日~12月10日)

下水道使用料等審議会 (第3回、第4回)

10月8日に第4回下水道使用料等審議会が開催され、市長への答申書が作成されました。12名の委員からなり、市議会議員が3名参加しておりました。(小暮ひろしも委員です)

答申書では、平成23年4月から、2ヶ月で10㎡以上の利用者は320円の値上げとなります。今回、2ヶ月で10㎡以下の利用区分を新設し310円の値下げとし、少量利用者に考慮した料金改定となりました。

これによりまして、利用件数の比較的多い、2ヶ月で20㎡あたりの使用料は2,100円になります。栃木県内の市の使用料を比較しますと、最高額は栃木市の2,709円、最低額は下野市の2,100円、平均では2,375円となっています。

この値上げによる増収は約3,500万円になりますが、使用料関係の収支では、まだ約1億円の不足となる予測です。現在下水道加入率は約50%であり、一層の収益向上に努力することでした。

(この案件は第4回12月定例議会で可決されました。)

2010 佐野市ふれあいフェスティバル (10月24日)

この日は、佐野中央ライオンズクラブと佐野市在宅介護の会の皆さんと組んだ、焼きそば販売の行事に参加しました。

焼きそばの販売個数は約2,000個ほどになり、196,650円を歳末募金をすることができました。

少し熱い思いもしましたが、楽しい経験となる『We serve』の一日でした。

国民健康保険(国保)運営協議会

佐野市の国保運営協議会の委員は、被保険者代表、保険医又は保険薬剤師代表、公益代表、保険者代表の21人からなり、保険料の改定の諮問等を協議しております。

優良保険者視察(会津若松市:10月21日~22日)

会津若松市は、人口約12万7千人で佐野市とほぼ同じで、国保被保険者数も36,267人で佐野市38,659人とほぼ同じです。国保の1人当たりの平均保険料は、会津若松市が約79,600円に対し佐野市が約82,900円と約3,300円(約4%)ほど高くなっていました。これは、保険料の収納率が会津若松市が89.6%に対し佐野市が86.4%と約4%低いことと一致しており、佐野市の収納率が改善されると、平均保険料も安くなります。

収納率改善として、次のようなことをしておりました。
・4月から5月に特別徴収対策班を設置して臨時的訪門
・滞納者の債権調査に基づく収納

・検診場所で野菜販売をして、健康と保険の意識を向上
・医療費適正の取組みとして、重複・頻回受診者の指導等色々と工夫しながら進めていることを知り、勉強になりました。

研修会(宇都宮東コミュニティセンター:10月26日)

厚生労働省に設置されている「高齢者医療制度改革会議」の委員をしている宮武剛氏の講演「高齢者医療制度の行方と課題」がありました。その中で、国民健康保険の被保険者の職業別を見ると、1945年では自営業(農林・水産・商工業等)の人が約68%、無職の人が約7%であったが、最近の2007年では自営業の人が約18%、無職の人が約55%となっており、支払う人の医療費の負担が増大している原因を示していました。

講演の中で、今75歳以上の方が独立している後期高齢者医療制度も、今後、国民健康保険と一体化して行く考えを示していました。私は、大企業サラリーマンの健保組合、中小企業サラリーマンの協会健保、公務員の共済組合などの保険制度と、保険料の負担率に差のない様に決めて頂きたいと思っています。

両毛六市若手議員懇談会研修会(11月1日)

両毛六市(佐野市、足利市、館林市、桐生市、太田市、みどり市)の議員と関係者45名がみどり市に集まり、研修会が行われました。私は、足利市で行っている『ゼロ予算事業の取り組みについて』に参加しました。この事業は、予算の縮減を契機に、新たな予算を伴わずに、本市の活性化や市民サービスの向上等に資する取り組みで、平成21年は40の事業を行い約2,600万円の効果を上げていました。

良い取り組みであり、検討してみる必要性を感じました。

『新政佐野』行政視察(彦根市、小浜市)

『新政佐野』会派では、彦根市と小浜市に行政視察に行きました。会派の参加議員は、山越密雄、岩崎俊道、荒井仁市、蓼沼一弘、林敬忠、井川克彦、小暮ひろしです。以下、ご報告致します。

11月8日 滋賀県彦根市『市街地整備について』

彦根市は、国宝彦根城(藩主:井伊直弼)のある約11万人の城下町である。彦根城は世界文化遺産暫定リストにも登録されている城である。この様な町であるが、市街地では空き店舗が多くみられる様になり、町再生に向けて市街地整備を進めてきたとのことでありました。「彦根市本町土地区画整理組合」は、平成11年~平成18年の8年計画で、まちづくり協定委員会、にぎわい再生委員会、テナントオーナー委員会、はいから倶楽部(市場おかみさんの会)などを立ち上げ推進してきたとのこと。1.3ヘクタールの再開発に当たり、徹底し

た土地利用ヒアリングを行い、集約換地と飛び換地を行い、空き地は駐車場として借地料を支払うようにしたとのことであります。街全体が色彩的にも調和され、彦根城の城下町としての雰囲気を感じとることができました。美しい街並みに感銘しました。

11月9日 福井県小浜市『食文化都市宣言について』

小浜市は、若狭湾のほぼ中央に位置する人口約3.2万人の市で、飛鳥・奈良時代より、朝廷に塩や海産物などの食材を提供する御食国(みけつくに)でした。また、日本の食文化の象徴である塗り箸の一大産地であり、国産塗り箸の生産シェアは9割とのこと。

平成13年には「食のまちづくり条例」を制定し、平成16年には「食文化都市」を宣言し、食を中心に、地産地消の推進、健全な食生活の実践による健康長寿社会の実現、食育の推進などを総合的に推進しています。

平成15年には食文化館(建設費16億円、うち交付金約9億円)をオープンし、年間約25万人が入館している。未就学の子供を対象にした幼児だけで行う料理教室「キッズ・キッチン」にも力を入れていました。この様なことを通して、食に対する興味を引き出すとともに、「食べるということは、命をいただくこと」という大切なことを、体得させているとのことでした。

小浜市の学校給食は自校方式で、地場産給食に力を入れており、15校中12校が実施しているとのこと。地場野菜の採用にたいして、特に問題は発生していないとのことでした。これより、食に対する市民の意識も高くなっており、給食費の未払いはゼロとのことでした。中田氏から、集中方式の学校給食でも、やる気さえあれば地場産給食は可能とのアドバイスがありました。

今回、食の大切さを知ることができ、大変参考になりました。

平成22年第4回12月定例議会

今回の第4回定例議会では、次の様な議案が提出され、可決や審議されました。

- (1) 報告2件、議案11件、補正予算10件
- (2) 一般質問(質問者18名)
- (3) 陳情5件

(1) 報告2件、議案11件、補正予算10件

議案では期末手当が審議され、議員・市長・職員等の12月期末手当の-0.2月が決まりました。議員・市長等は2.2月、職員は2.0月です。

また、平成23年末から平成27年までのみかもクリーンセンターごみ焼却処理施設長期包括運営管理業務委託費として、限度額31.8億円の債務負担行為が決まりました。今後、年平均7.1億円という高額の契約協議が進められて行きますが、よく注目して行きたいと考えております。

(2) 一般質問

国民健康保険制度(略して国保)について

佐野市の所属する栃木県の国保の収納率は、全国47都道府県中46位と低い値となっております。又、栃木県の一人当たりの保険料が全国一高いこと、収納率に関係している資格証書の発行率が栃木県は全国一高いこと、国保の収納率の高い県は年金の納付率も高い傾向にあることが見られました。

*** 小暮ひろしの一般質問 ***



国保の収納率等の順位

順位	収納率(%)	保険料(千円/人)	資格証明率(%)	年金納付率(%)
1	島根(94.2)	栃木(72.2)	栃木(4.0)	島根(71.3)
2	富山(93.8)	埼玉(72.0)	三重(3.2)	新潟(70.8)
3	愛媛(92.4)	石川(72.0)	群馬(3.0)	福井(69.9)
平均	(89.8)	(62.4)	(1.5)	(61.1)
45	大阪(85.8)	宮崎(53.2)	埼玉(0.3)	長崎(53.2)
46	栃木(85.1)	鹿児島(52.6)	長野(0.2)	大阪(48.6)
47	東京(84.3)	沖縄(41.9)	沖縄(0.1)	沖縄(35.5)

(医療分)

35位 栃木(56.4)

栃木県の収納率が全国でも特に悪くなっている理由として何があるのか、厚生労働省で出している、「国民健康保険実態調査報告(平成20年度)」のデータを基に、収納率に関係すると思われる14要因の影響度を、重回帰分析のプログラムにより調べて見ました。

収納率との関係を表す相関係数の大きい順に見ますと、次の如くなっていました。[1が最も関係が強く、0は関係ない。マイナスは、その項目が増えると、収納率が低下することを示す。]

- ・年金納付率(0.54)、
- ・一人当たりの保険料(-0.45)、
- ・保険料減免額の対調停額比率(0.40)、
- ・一人当たりの所得(-0.38)、
- ・資格証明書交付比率(-0.22)でした。

がん検診率と収納率との相関係数は見られませんでした。

これより、収納率向上のためには、納税意識の向上をはかり、保険料の低減に努め、保険料の減免や資格証明書の発行を考慮すること等が大切であることが判りました。

そこで、佐野市として収納率向上のため、特に推進すべき具体的内容等を質問致しました。

(答弁) 国保は公費や保険税で一部を負担して助け合う制度で、期限内納付や適切な受診に特に心がけて欲しい。又、健康維持のために、健診の受診、予防に努力を。

(3) 陳情5件

陳情第6号と第8号は採択、陳情第7号と第9号は不採択、陳情第10号は継続審議となりました。

(第6号) 大幅増員と夜間改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情。

(第7号) 住民の安心・安全を支える行政サービスの充実について国への意見書提出をもとめる陳情。

(第8号) 公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する陳情。

(第9号) 2011年度の年金確保及び生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情。

(第10号) TPP交渉参加断固反対に関する陳情。